



## スマホ・ケータイ安全教室を行いました

5月30日(月)にスマホ等の使い方やスマホ等に関するトラブル、事件などについて自分で考えられるよう「スマホ・ケータイ安全教室」を開催しました。KDDIのインストラクターさんから次のようなご講話をいただきました。いろいろと考えさせられる実際に起こったことに基づいた事例を挙げていただきました。保護者の方にも、ご参加いただき、ありがとうございました。



**「スマートフォンは動画を見たり、調べたり便利な道具である。  
しかし、一生消えない傷を残す物となることもある。」**

### ◎ 事例1 ONLINE ゲーム上での口喧嘩がもとで、不登校や決闘になりそうになった事例

○ ONLINE ゲームを複数の友達(サッカーの2チーム)と行っていたが、ゲームが上手にできないために文句を言われ、一方のチームの子に「へたれ」「消えろ」など言われた。同チームの子は、擁護し、相手チームの子たちと口論となり、決闘をすることになった。言われた本人は学校を休み、決闘について、担任の先生が知り、保護者会を開催することとなった。

※ 言葉の暴力や誹謗中傷は、不登校や自殺を起こす原因となる。犯罪として認められ、訴えられた場合、有罪となる。

☆ 思いやりを忘れずに。立ち止まって考え、相手の気持ちを想像する。

### ◎ 事例2 スマートフォンに夢中になって、深夜遅くまで起きている日が続くようになった事例

○ 家族にスマートフォンを買ってもらい、動画やダンスの投稿等を見る時間がだんだんと長くなった。さらに、自分でもSNSに投稿するようになり、午前1時過ぎに就寝するような日が続くようになった。学校では、授業中眠くなり、授業に集中できず、学力も低下する。怒りっぽくなったり、イライラしやすくなったりして、友達が心配して声をかけても、怒ってしまうため、友達も離れていく。ネット依存がますます深みにはまっていく。

※ ネット依存 ネットを見ないではいられない。時間等に関して、正常な判断ができない。自分でどうしようもなくなってしまうのが依存。

☆ スマホの使用時間を自分で考え、コントロールできるようにする。ルールをつくり、ルールを守る。フィルタリング機能を使う。スクリーンタイム(使用時間を設定し、コントロールする)やファミリーリンク(子供がオンラインで学習やゲーム、検索等をする際のルールを保護者のデバイスから設定し、リモートで管理できるシステム)などを積極的に使用し、自己コントロールをする。

### ◎ 事例3 ネット上の知り合いから、遊びにおいでと誘われ、行ってしまった事例

○ SNS上で活動している人と知り合いになり、個別的に家庭での不満を打ち明け、会いにおいでと誘われる。相手は、高額を稼いでいる様子を話す。本人に合うと、食事はファミレス、住まいは普通のアパートで、部屋内はゴミ屋敷の状態。入ると鍵を閉められてしまう。

※ ネットでやりとりをすれば、友達か? ネット上の情報で、相手を信用してよいのか。

【実際にあった他の事例】

- ・女子中学生・上半身裸の写真を送ったら、ネット上に拡散された。
- ・男子中学生・相手が、女子中学生だと思い、裸の写真を送ったら、男の人であり、ネット上に身元をばらすと脅された。
- ・女子高校生・ネット求人を申し込むと無料期間(20日とか3週間とか)が過ぎたあとになって、掲載料金を請求される。
- ・男子高校生・オレオレ詐欺の受け子役をやらされる。

☆ 知らない人とのやり取りは、いつでも疑いの気持ちをもつ。ネット上の誘いによって、会いに行かない。ネット上の情報を簡単に信用しない。脅されても従わない。困ったら大人(親、学校、ネット上の公的な相談サイト)に相談。

## 講話を聞いた生徒（生活委員）の感想です

スマホ・ケータイ安全教室を受けてみて思ったことが3つあります。1つ目は、メッセージの怖さです。動画を見せてもらってこんなことがあるのだと思いました。ゲームが弱いことで、周りからいじめられ、けんかに発展していき、保護者まで出てくることになってしまいます。とても怖く感じました。2つめは、スマホ依存です。学校で眠くなって、まともに授業に集中できなくなってしまいます。動画にはまりすぎてしまって、学校ではその事しか考えられず、友達にも心配をかけてしまいます。友達の声かけもストレスとして溜まっていきます。そして、関係も悪くなります。3つめは、知らない人と会うことです。ゲームなどで出会った人の家にはいきません。名前や住所が正しいかどうかかわからずに会うのは、危険です。家で暴力をされることもあるからです。友達がしそうなになったら、声をかけてください。このスマホ・ケータイ安全教室は、とても勉強になりました。

(3年男子)

私は、このスマホ・ケータイ安全教室が3回目ですが、改めてスマホやケータイの怖さを知りました。特に、スマホの依存は、段々と自分では治らなくなっていってしまうところが「本当に怖い」と感じました。(依存をしないためにも、使う時間を決めたり、自分のやるべきことをしてからじゃなければ、“スマホを使ってはいけない”などのルールを決めたりして、スマホの依存に注意していきたいなと思いました。スマホやケータイは、とても便利なものですが、使い方を誤ると、自分が危険な目に合ったり一生消えない傷を負ってしまったたりするので、気を付けて利用していきたいと思います。(3年女子)

講話を聞いて、スマホやケータイには、たくさん危険があることを、あらためて学びました。ゲームの中で知り合った人に合うことは、相手が本当にいい人と限らないので、しないようにします。ゲームの中では、誰かが失敗したときには、その人を責めずに「次がんばろう」などの声をかけようと思います。スマホ・ケータイには、おそろしいことがたくさんあることがわかりました。これからは、使い方に気を付けていきたいと思います。(2年女子)

僕は、本当にあったことの話聞いていた瞬間、心配になってきました。そうならないようにするために、時間制限をつけ、スマホ依存にならないようにしたいと思います。(2年男子)

私は、自分用のタブレットをもっていて、毎日のように使っています。今日の講話を聞いて、ネット上で知り合った人や一緒にゲームをしている仲間に対して冷静になって行動し、知らない人には疑ってかかるなどの対応の仕方がわかりました。また、SNSの依存になると、寝不足でイライラし、怒りっぽくなってしまふことなどがわかりました。これから私は、もっとタブレットの使い方に注意して、トラブルなく使っていきたいです。

(3年女子)

僕は、今日のスマホ・ケータイ安全教室でインターネットの怖さを知りました。僕は、動画の人たちにならないように、気を付けてインターネットを使っていきたいと思いました。スマホのルールを決めて、使っていきたいです。

(3年男子)

僕は、オンラインゲームでのトラブルや長時間利用での悪影響、ネット上で知らない人とかわかることについての危険について、再度考えることができました。オンラインゲームでは、悪口を言ったりしないことについてあらためて考えることができました。長時間利用の悪影響では、学校生活にも影響することや睡眠不足になるなど、生活に関係していることがわかりました。ネット上には、自分の写真などを載せてはいけないなども考えました。特に、家庭内で時間を決めることが大切だと思いました。ルールを決めて使い、トラブルに巻き込まれないようにしていこうと思いました。

(3年男子)

スマホやケータイに依存すると、悪い影響しかなかったの、見過ぎないように、気を付けようと思いました。また、ネットで知り合った、何も知らない人の家などに会いに行かないで、親などに注意されたら、しっかりということを知りたいと思いました。

(2年女子)

